

会 議 要 旨

会 議 名 (審 議 会 等)	第3回南あわじ市文化財保護審議会 (門崎砲台跡の保存・活用)
事 務 局 (担 当 課)	南あわじ市教育委員会 社会教育課
開 催 日 時	令和6年4月19日(金) 14時00分～16時00分
開 催 場 所	南あわじ市役所第2別館第5会議室
出席者	委 員 堀部るみ子、竹田俊道、正井良徳、小野昌一、岡崎正信、関口功、木田徹、 吉田文洋、唐澤靖彦、坂井尚登、飛田俊紀
	事 務 局 福田龍八 (教育次長) 眞野匡史 (社会教育課長) 郷野仁史 (社会教育課主幹) 山崎裕司 (埋蔵文化財事務所調査員)
議 事	(1) 本砲台の復元場所について (2) 本砲台の復元方法について
議 事 要 旨	別紙のとおり

第3回南あわじ市文化財保護審議会 議事要旨

○ 議 事

(1) 本砲台の部分的復元について

本砲台の復元場所について、前回の候補地に加えて新たな候補地⑤⑥についても議論を行った。

【候補地①～④】

- ・ 保存している現物を使って復元するとすれば、候補地①のうずまちテラスが最適と考える。
- ・ 費用面から FRP にする場合、候補地④の岬先端の県有地が臨場感あっていいのではと思う。

【候補地⑤丸山漁港「海の展望広場」】

- ・ 令和6年3月末で施設は閉館となった。観光資源的にはトーンダウンするであろう。
- ・ 丸山漁港は県の漁港区域であり、水産振興の用途に限定されるため、砲台の移設場所として適さない。

【候補地⑥うずまちテラス第2駐車場下（行者ヶ嶽6射砲辺り）】

- ・ この候補地は、自然公園の中でも特別保護地区に次いで景観保護の規制が厳しい第1種特別地域であるため、砲台の移設は認められないことを環境省から聞いている。
- ・ 候補地よりも山側手であれば第2種特別地域であるため認められる可能性はある。
- ・ 木々の伐採及び道の整備が必要であり、多額の費用と時間を要することになるであろう。
- ・ 道をさらに下れば、他の遺跡も残っているので関連付けると良いのではないかと。

(2) 本砲台の復元方法について

本砲台の復元方法について議論を行い、委員からは下記の意見が出された。

【復元方法①】

- ・ この方法は全然目立たない。
- ・ 海側からは見えるが、うずまちテラスに来た人には、地下にある砲台は見えないため、近くまで行って見られる工夫が必要になる。
- ・ 敵から気づかれないよう土を被せていたこともあり、本来の状態に近い再現方法と言える。
- ・ この方法であれば、見える部分に現物を使用し、土で隠れる部分には別の素材と組合せ、補強しながら復元することができる。

【復元方法②】

- ・ 多額の費用がかかるであろう。
- ・ 安全性は確保できるのか。

【復元方法③】

特になし

【復元方法④】

- ・ 元の大きさに近い形が良いと思う。縮小の案よりは原寸が良いと思う。

【FRPによる復元方法】

- ・費用面を考えると切り出した現物を使用しなくてもFRPが良いと思う。
- ・切り出した段階で毀損している。現物を組み立てる際、ボルトを入れて組み立てるのだが、さらに毀損することに繋がるので、FRPによる復元が良いと思う。
- ・FRPは軽量で安価で形を作りやすく、文化財の模型を作成することもよくある。
- ・耐久性は十分であるが熱に弱いという点もある。ただ熱が加わる状況は想定されにくい。
- ・うずまちテラスの芝生の下には貯水タンクがあるため、地上に復元する際、なるべく軽量にする上でFRPが良いのではと思う。小さなものであれば、タンクを避けて復元できる。

【その他意見】

- ・門崎砲台でいえば、元あった砲台を解体し他所へ移動しているため、国指定重要文化財になる可能性はほとんどない。また、県指定にしても、今後どう復元して維持保存するかによると考えられる。

南あわじ市文化財保護審議会 次第

日時 令和6年4月19日(金)
午後2時00分より
場所 南あわじ市役所第2別館
第5会議室

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 本砲台の復元場所について
- (2) 本砲台の復元方法について

3. 閉 会

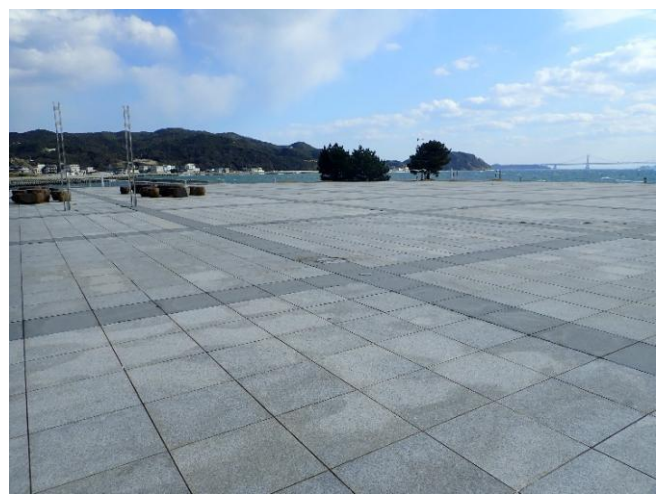
(1)本砲台の復元場所について

前回審議会(候補地①～④)の意見については下記のとおり。

また、候補地⑤、⑥についても検証を行う。

候補地	判定	委員意見
① うずまち テラス	○	<ul style="list-style-type: none"> ・海が見え、見晴らしも良い。観光施設もあり、砲台だけを設置するよりは意味があると思う。 ・他にも良いところがあると思われる。 ・来訪者もある場所であり、眺望の点から考えても良いと考える。 ・鳴門要塞という全体の構造を踏まえて考えると、もともと笹山砲台があり、下れば、弾薬庫をはじめとする行者ヶ嶽砲台の遺構が残っているため、鳴門要塞全体の理解を資するという点では良いのではないかと思う。
② うずまちテラス 第2駐車場	△	<ul style="list-style-type: none"> ・目立たないところに移設しても何があるのか分からないのであまり賛成できない。 ・臨時委員以外の専門家の意見に、「砲台だけ残しても観光の目玉にならない。現場近くに残していても人は絶対に来ない。」とあり、大きく同感できる。 ・駐車場の増設は環境省もなかなか許可は出してくれないであろう。
③ 一部保存 仮置場	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは無いと思う。厳しいものがある。
④ 岬先端の 県有地	△	<ul style="list-style-type: none"> ・車が停められやすいところでないとは発展性はない。 ・県有地であるため市が買い取らなければならない可能性がある。 ・観光客が増えた場合、駐車台数が足りるのか。足りなければ徒歩で来てもらうことになる。 ・切り出したものを運ぶのは無理なのではないか。FRP ならば考えられるかもしれない。

候補地⑤ 丸山漁港「海の展望広場」



- ・敷地が広く、眺望も良い
- ・観光施設もあり、釣りやサイクリング
の観光客も多い

(メモ)

候補地⑥ うずまちのテラスの第2駐車場下(行者ヶ嶽の6射砲辺り)



- ・鳴門要塞全体を有効活用できる
- ・伐採等の周辺整備・文化財調査が必要

(メモ)

(2)本砲台の復元方法について

復元に当たり、以下の項目を検討する。

○ サイズ感や復元方法等について

	復元方法	サイズ感・復元の可能性・費用面
①	切り出したピースを土の斜面に埋め、射撃口の一部を見せるかたちで復元	・幅 7m×高さ 4m×奥行 3～4m ・一部のピースを復元することで、費用が抑えられる ・復元するに当たり、下記のことが懸念される。 1. 地下にある水道本管の移設が必要 2. 展望デッキとその下にある基礎の撤去が必要

復元方法① イメージ図(地下に復元する)



復元方法		サイズ感・復元の可能性・費用面
②	切り出した全てのピースを使用して、射撃口のみを復元(原寸)	<ul style="list-style-type: none"> ・幅 10m×高さ 6m×奥行 6m ・復元するに当たり、下記のことが懸念される。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 復元に高額のコストがかかること 2. 復元後も恒常的にメンテナンスのコストが必要 3. ピースを組み立てる際に遺構の破壊を招きかねない
③	切り出した一部のピースを使用して、射撃口のみを復元(縮小)	<ul style="list-style-type: none"> ・幅5m×高さ 3m×奥行 3m (約 1/8) ・復元するに当たり、②と同じ意見になる。
④	③と FRP を組み合わせ、全体を復元(縮小)	<ul style="list-style-type: none"> ・幅5m×高さ 3m×奥行 7m (約 1/8) ・全体を復元するが、②③と同じ意見になる。

復元方法②～④イメージ図(地上に復元する)

